

家畜を飼って食べるための肉やたまごなどを生産する農業を(1…漢字で)といい、乳牛から牛乳をしぼり、乳製品をつくる農業の(2…漢字で)と区別します。

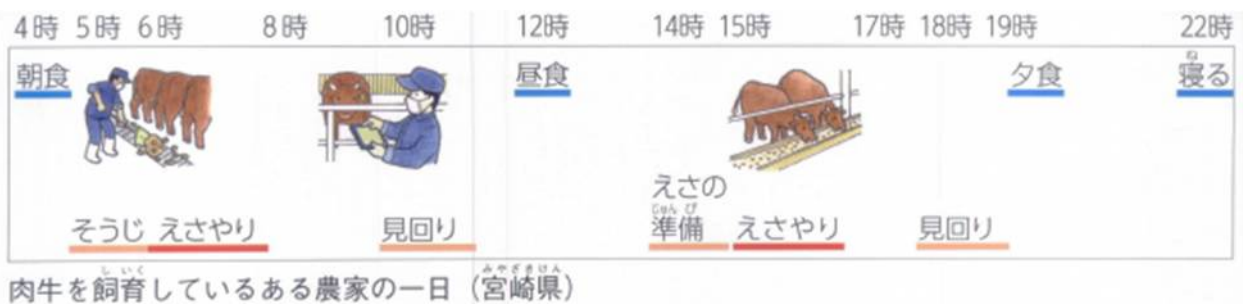
洋風の食事が広まり、肉や乳製品が好まれるようになりました。むかしは、仏教の教えから肉を食べることは少なく、食べるようになったのは明治時代に入ってからのことです。



畜産



畜産農家の1日



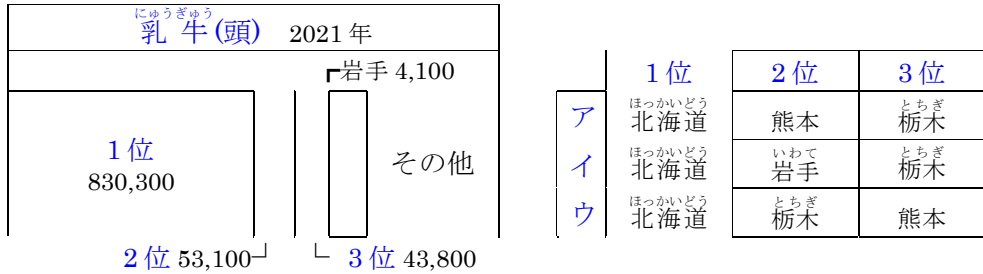
家畜の飼料には牧草やとうもろこし、農作物のくきや葉などが使われています。また、いろいろなえさを混ぜ合わせて家畜にあたえられるようにした飼料も利用されています。さらに、家畜の飼料として栽培されたコメの(3…米)を生産している農家もあります。1日に約30kgの飼料を食べる牛のえさやりには長い時間がかかり、自動でえさをまく機械を使っている農家もあります。また、家畜のようすを確認するために、牛舎にカメラや温度のセンサーを設置して、見回りの時間以外のようなようすもわかるようにしてあります。

さらに、家畜を伝染病から守るために限られた人しか牛舎に入ることができず、出入りする自動車なども必ず消毒されています。

おもな家畜の種類

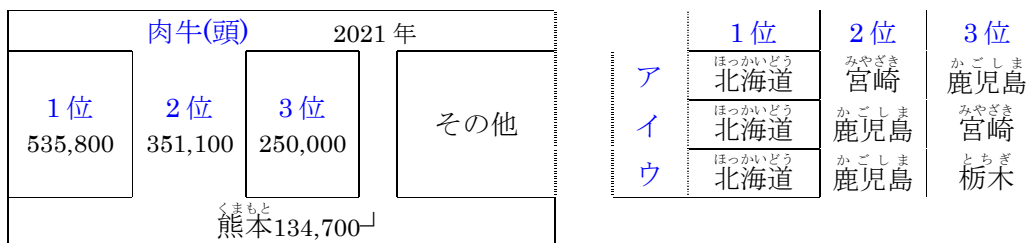
① 乳牛

飲用乳の牛乳は東京に近い県で生産され、東京から遠い北海道ではバター・チーズなどの乳製品に加工されています。乳牛の生産を表しているものは(4…ア～ウ)です。



② 肉牛

肉牛の生産を表しているものは(5…ア～ウ)です。



ブランド牛として、(6…?県)の松阪牛や、(7…?県)の米沢牛、兵庫県(8…?)の神戸牛などが知られていますが、1991年から外国産の安い牛肉が輸入できるようになったため、国内の農家はきびしい競争にさらされています。また、数年前にアメリカでBSEという牛の脳の病気が広まり、牛肉の安全性に対する消費者の関心が高まりました。2010年には、牛・豚・羊・山羊などの蹄をもった動物たちが感染する口蹄疫も広まり、畜産農家が打撃を受けるできごともおきています。これらの病気は農家にとっては死活問題なのです。

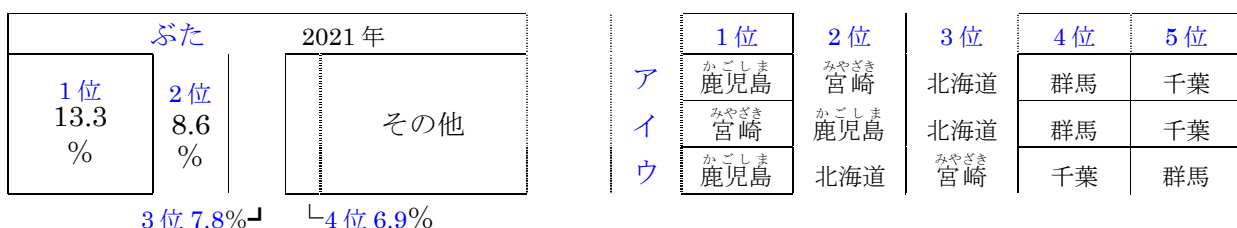
こうしたことから、食べ物がどこで生産され、どのようにして消費者まで届いたかを調べることができる(8…カタカナ。右資料)というしくみもできています。

【個体情報】				
個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別
10254416XX	20XX.01.25	メス	10272436XX	黒毛和種

【異動情報】				
異動内容	異動年月日	飼養施設所在地		氏名または名称
		都道府県	市町村	
1 出生	20XX.01.25	宮崎県	〇〇市	四谷 太郎
2 転出	20XX.10.09	宮崎県	〇〇市	四谷 太郎
3 搬入	20XX.10.09	宮崎県	〇〇市	九州地域家畜市場
4 取引	20XX.10.09	宮崎県	〇〇市	九州地域家畜市場
5 転入	20XX.10.09	佐賀県	△△市	(株)▲▲牧場
6 転出	20XX.08.03	佐賀県	△△市	(株)▲▲牧場
7 搬入	20XX.08.03	福岡県	□□市	(株)■□食肉
8 と畜	20XX.08.03	福岡県	□□市	(株)■□食肉

③ ぶたの生産を表しているものは(9…記号)です。



ブロイラー(食べるための鶏肉)の生産は(10…記号で)です。

ブロイラー(千羽)			2021年		
1位 28012	2位 27085	3位 22600	その他		

	1位	2位	3位
ア	かごしま 鹿児島	みやざき 宮崎	いわて 岩手
イ	みやざき 宮崎	かごしま 鹿児島	いわて 岩手
ウ	いわて 岩手	かごしま 鹿児島	とちぎ 栃木



また、採卵鶏(たまごをとるためのニワトリ)は(11…記号で)です。

採卵鶏(千羽)				2021年			
1位 17756	2位 12008	3位 11605	4位 9989	その他			

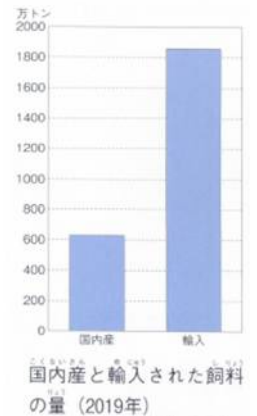
  

	1位	2位	3位	4位
ア	かごしま 鹿児島	いばらき 茨城	千葉県	広島
イ	いばらき 茨城	千葉県	かごしま 鹿児島	岡山
ウ	いばらき 茨城	かごしま 鹿児島	千葉県	広島

### 畜産をめぐる問題

しかし、これらの飼料の多くは外国からの輸入にたよっています。そのため、国内で生産される肉牛を「国産外国牛」といったよび方をすることもあります。

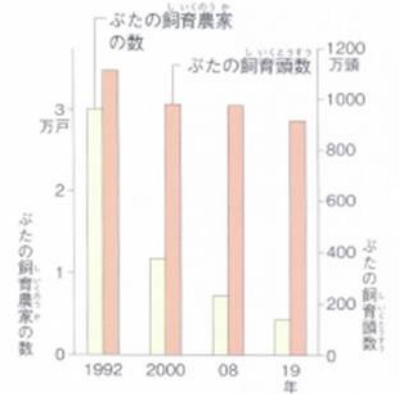
もし、輸入される飼料のなかに有害なものが入っていたときの影響には計り知れないものがあることを理解しておかなければなりません。



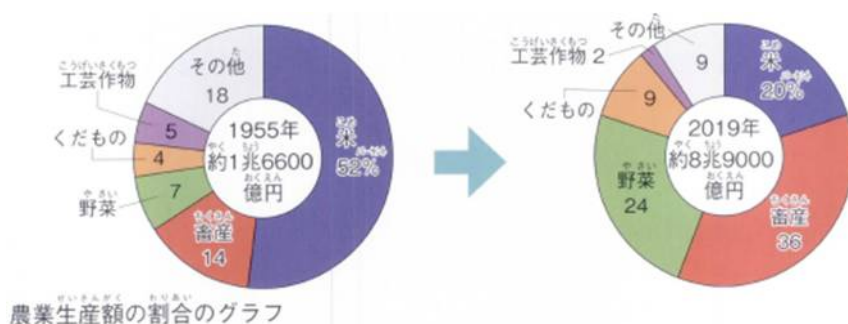
### 減る畜産農家

牛肉の国内生産量は、アメリカや(12…外国名)などからの輸入量よりも少なくなっています。畜産農家が減っている理由は、①働く人の年齢が高くなり、後つぎが不足している。②安い輸入肉との競争がきびしい。③設備やえさに費用がかかる。などです。

今では、ぶたやにわとりなどを中心に畜産専門の会社が大規模な飼育を行うようになってきたため、畜産農家の数は減っていますが、農家一戸あたりの飼育数は増えています。



### 農業生産額の移り変わり



かつては、コメの生産が最も多く、畜産は2位でした。

現在は畜産の生産額が最も多く、農業生産額の3分の1を占めています。